

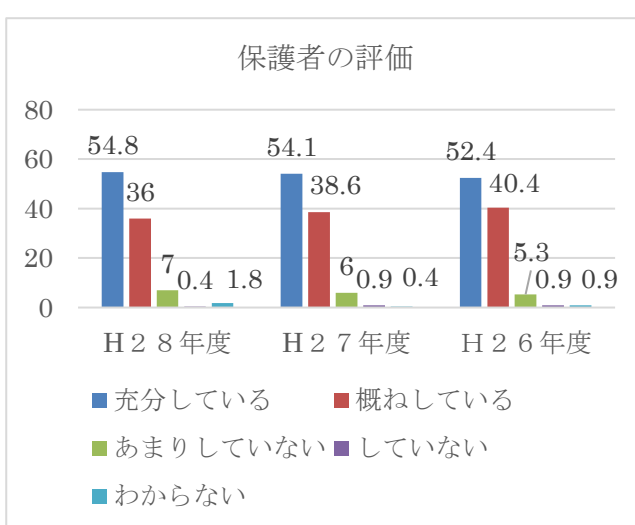
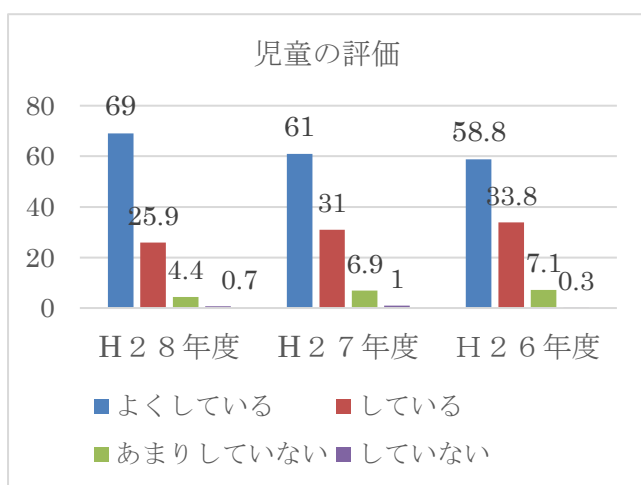


“特集” 学校評価アンケート結果

学校評価の評価項目は17ありますが、その中でも今年度の指導重点項目である「あいさつ運動」と「学力向上（「学びあい」の学習）」、「そうじ（黙働）」を取り上げました。

特集1 「あいさつ運動」の成果と課題

子どもたちと保護者の皆様へのアンケートを比較すると、今年度のあいさつ運動の成果と課題、そして改善方策が見えてきます。「あいさつをよくしていますか？」という質問に対する回答は…



ここで注目したいのが「あいさつをよくしている」という児童の評価（69%）に対して保護者の評価（54.8%）の方が低いことです。その理由はいったい何故でしょうか？ 保護者の自由記述にこのようなことがありました。

学校としてのあいさつ運動は良く取り組んでいることがわかりますが（HPや舞鶴小だよりなどから）旗振り時、あいさつを元気にする子はいつも決まって同じ子です。朝や帰り、ボランティアで立ってくださる方々には特にもう少し気持ちの良い接し方ができるよう指導してほしいと思います。

学校では「あいさつ」に力を入れているようですが、旗振りの時など、「おはようございます」と声をかけても返事がないことが多いです。顔を見るだけで何も言わない。子どもによっては、顔も見ない。親としては大変恥ずかしいことだと考えてしまいます。

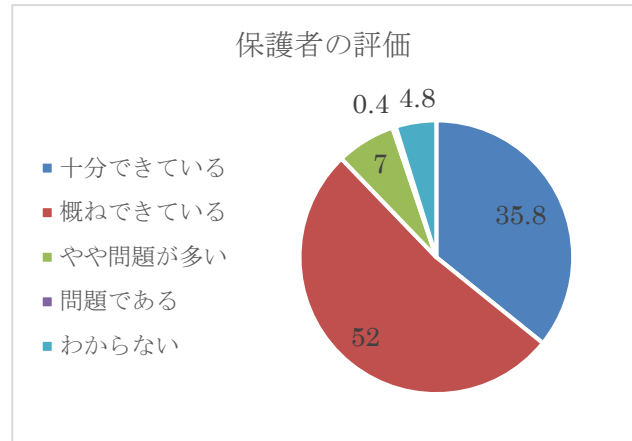
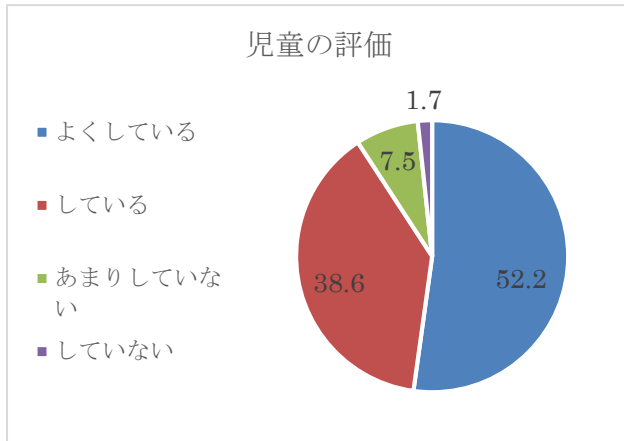
このように、学校ではあいさつをしても地域で旗振り当番や見守りボランティアの方々にあいさつができていない実態が浮かび上がってきます。そこで、改善方策として次のことに取り組んでいます。

< Super Excellent の取組 >

下校する間や登校する間に、①旗振り当番の方 ②安全安心の見守りボランティア ③地域の知っている方にあいさつしたら「しました校長先生おはようございます！」といってハイタッチする。その時に、私から「**Super Excellent**」と評価してあげる。その子どもには、2週間に1度、**Excellent** シールをプレゼントする。また、道徳や学活等であいさつの大切さを継続的に指導する。

特集2 学力向上の取組（「学び合い」の学習の推進）

「授業中に友だちと話し合うことは多いですか？」という子どもたちへの質問の回答は右の円グラフの通りです。また、「学校は児童が進んで学習する態度が育つように取り組んでいますか？」という保護者への質問の回答は左の円グラフの通りです。2つの回答の違いが分かりますか？



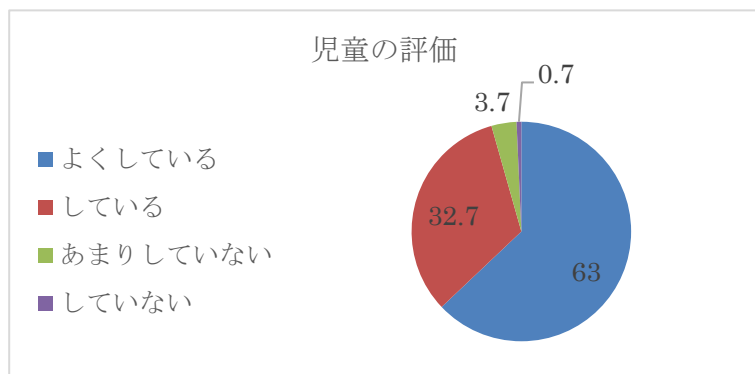
半分以上の子どもたちが「授業中に友だちとよく話し合っている」と回答しているのに対して、約1/3の保護者の皆様しか「児童が進んで学習する態度が育つように十分取り組んでいる」とご回答いただけていません。もちろん、「授業中に友だちとよく話し合っている」と「児童が進んで学習する態度が育つように取り組む」と、同じことを意味しているわけではありません。しかし、「学び合い」の学習においては、この2つは深い関連があります。まだまだ保護者の皆様にご理解いただけていないところがあるかと思えます。そこで、保護者の皆様に、本校の「学び合い」の学習の取組をご理解いただくために次のような改善方策を策定し、現在実行しています。

＜「学び合い」の学習の推進のための3つの取組＞

- ① 「学び合い」の学習に取り組む校長参観授業を全学級で定期的実施する
 - ② その様子を学校HPに掲載し保護者の皆様にもご理解いただく
 - ③ 学校集会やPTA学年総会、PTA学校委員会で「学び合い」の動画をお見せし、理解を促進する
- 以上の取組を通して、「学び合い」の学習を推進するとともにその理解を促進する

特集3 そうじ（「黙働」の取組）の成果と課題

6割以上の子どもたちが「そうじをよくがんばっている」と回答し、95.7%の子どもたちが「そうじをがんばっている」と答えています。重点項目として取り組んだ1年目としては大きな成果を上げることができたと思います。しかし、目標はあくまでもすべての子どもたちが自信をもって「そうじをよくがんばっている」と回答することですから、次のような改善方策を策定し、取り組んでいきます。



＜そうじ（「黙働」の取組）3つの取組＞

- ① 子弟同行（子どもと先生と一緒にそうじをする）の取組を今後も継続する
- ② 来年度は児童会や委員会活動とさらに連携を図りながら取組を進める
- ③ 道徳や特活等でそうじをすること、そして、人のために働くことの大切さを継続的に指導する